



学校安全便り

第5号 担当：佐藤(孝)

不審者って、どんな人？

子どもたちは不審者と聞くと「男の人、黒い服、サングラス…」というイメージをもって
いるようです。保護者の皆様は不審者と聞いて、どのような人物を思い浮かべますか？

7月9日(火)に実施しました不審者対応避難訓練では石巻警察署生活安全課の方
に御協力をいただきました。今年度の試みとして不審者は男性とは限らないことから、女
性の警察官の方に不審者役をお願いしました。

訓練では不審者(役)が友達の写真を勝手に撮ったり、名前や住所を聞き出そうとし
たりする様子を見て不審に思い、教師に知らせることができたお子さんもいました。

一方で子どもたちは優しく声を掛けられ安心したのか、近寄っていきシールやお菓子
をもらって喜ぶ姿もありました。「黒松先生、黒松先生…」という不審者侵入を知ら
せる放送を聞いてから、「今の女の人の不審者だったの…」と驚いていたようです。

今回の訓練を通して不審者は男性だと思い込んでいる先入観を職員も子どもたちも
変えることができたのではないかと思います。

避難訓練後に行った防犯教室でもお話いただきましたが、知らない人に話し掛けられた時にはつかまれないように距
離を2m 取ることや行動や様子がおかしいと気付いたらすぐに逃げて近くの大人に知らせることなどを今後も繰り返し
指導していきます。



防犯教室「いか・の・お・す・し」

- 「いか」…知らない人についていかない
- 「の」…知らない人の車にのらない
- 「お」…危険と思ったらおおごえを出す
- 「す」…近寄ってきたらすぐにげる
- 「し」…家族や学校、子ども110番の家の人
など、近くの大人にしらせる

← 石巻警察署生活安全課の警察官の方お二人
に不審者役と防犯教室の講話をしていただき
ました。

水辺の事故防止

宮城県の梅雨明けはまだですが、気温が30度を超える日も多くありました。これから夏休みにかけて海水浴や釣り等
で水辺に行く機会もあると思います。湊小学校の生活のきまりでは、**子どもたちだけで海や川に行かせず、必ず保護者
の方と一緒に行く約束**になっております。学校でも指導いたしますが、お子さんと一緒に確認をお願いいたします。

また、学区内には、市民の森入口や宝山寺の近くにため池が数か所あります。保護者の方は御存じだと思いますが、
令和4年4月に栗原市築館のため池で小学1年生の児童が転落して死亡した事故がありました。学区内にあるため池
のまわりには柵やPTA安全部で設置した危険を知らせる看板がありますが、御家庭でも「絶対、ため池に入らないこと、
柵を乗り越えないこと」等をお話いただければと思います。

また、宮城県では小学生以下の小児向けに、転落事故の絶えない「ため池」の危険性を具体的に説明し、事故を防
止するためのルールを守るよう、注意喚起する動画を公開しています。ぜひ御覧ください。

【ため池事故防止】「まもうね!ためいけルール」動画公開中!

宮城県公式動画チャネル <https://www.youtube.com/watch?v=EW0n3A5U6wU&t=162s>

減っています!!

下記の表は4月から6月の外傷による保健室来室者数です。昨年度に比べると大幅に減っていることが分かります。数だけで判断してはいけないと思いますが、安全に気を付けて生活していることの見えになります。

外傷による保健室来室者数

	4月	5月	6月
令和5年度 来室者数	105人	121人	68人
令和6年度 来室者数	53人(-52人)	55人(-66人)	64人(-4人)

校庭で遊んでいれば、転んで擦り傷ができたり、打撲をしたりすることもあり、元気な証拠とも考えられます。

防ぎたいと思うのは、教室内や階段、廊下で起きるけがです。教室内で鬼ごっこをしたり、階段を一段ずつ下りずに飛び下りたり、廊下を全力で走ったりするために、友達同士で衝突して打撲をすることや捻挫をすることがあります。本校ではありませんが、ガラスがある扉に衝突して大けがをする事例もあります。

● 湊小学校における校舎内のけがの例（指導徹底や児童自身の注意で防ぐことができたと考えられるもの）

- ・ 教室の出入り口のところで、友達とぶつかってしまった。お互いよそ見をしていた。（打撲・腫れはなし）
- ・ 教室で友達が持っていた手持ち鏡をふざけて取った時に、落として割ってしまった。鏡の破片をとろうとして、右手親指を切ってしまった。（切り傷）
- ・ 給食時間に自分の給食着を踏んで滑って転倒。転倒した際に、隣の人の机に右頬をぶつけてしまった。（打撲）
- ・ 階段の床が濡れていたのを避けようとしてジャンプをした。ジャンプをした時に、8段くらい上から飛んだので着地したときに左足首を捻って痛めてしまった。（捻挫）

学校では生徒指導集会で室内の安全な過ごし方について指導しました。また、昼休みに廊下を走る児童に「廊下は歩きます。」と繰り返し声掛けを行ったり、図工の学習等で刃物を使用する場合は安全指導をしっかりと行ったりすることで、けがの予防に努めています。

今後は教師からの働き掛けだけではなく、子どもたち自身が危険を予測し、お互いに声掛けをしながら安全な学校生活を送ることができるようにしたいと思います。



生徒指導集会「室内の安全な過ごし方」



2年 図工 カッターナイフの安全な使い方の指導